

## ◆令和元年度 日高未来塾講演会

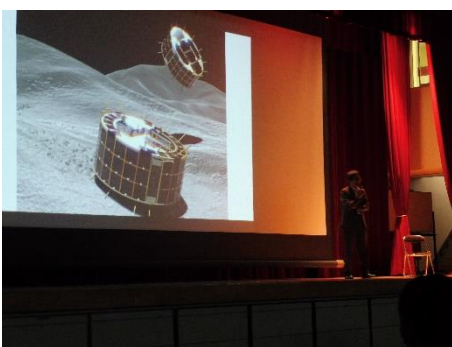
## 「僕にも目指せた惑星探査 はやぶさ、はやぶさ2」

12月6日(金)、本校体育館で、毎年恒例の「日高未来塾講演会」が開かれました。今年度は本校の卒業生である北海道大学教授 塚本尚義先生に「僕にも目指せた惑星探査はやぶさ、はやぶさ2」と題して、講演をいただきました。塚本先生は、プロジェクトチームの一員として、はやぶさがイトカワから持ち帰ったサンプルの初期分析にも参加され、現在は、大学がある札幌と宇宙研がある相模原市を往復しながら、はやぶさ2がリュウグウから持ち帰るサンプルを保管・配分施設の設計、製作を行っておられます。講演では、ご自身の高校大学時代のお話も交えながら、小惑星のイトカワやリュウグウについて、また、先生のこれからの研究について、後輩である生徒たちに熱く語っていただきました。来年末のはやぶさ2の帰還が楽しみです。



## 【生徒たちの感想】

普段「宇宙」と聞くと、とても遠く、自分が今いる世界とは比べものにならないほど広いというイメージがあります。そんなお話を今回の講演で聴くことができ、とても貴重な経験になりました。2014年、はやぶさ2が打ち上げられた時には、ニュースで大きく取り上げられたことを今でも覚えています。多くの人の歓声とともに、勢いよく打ち上げられたロケットの映像にはとても感動しました。当時は、2020年に帰還すると聞いてもピンときていませんでしたが、それがもう来年に迫っているとは驚きです。また、はやぶさ2は人工的にクレーターを創り出すということで、リュウグウの地表の下の物質も持ち帰ってくると聞き、新たな発見につながるのかと思うとワクワクします。サンプル採取は100mgで成功とされているようですが、その中に一つでも多くの宇宙の謎を紐解く答えが含まれていると良いなと思います。オリンピックに加え、はやぶさ2の帰還、と、2020年は大きなイベントがたくさんあり、とても待ち遠しく思います。(3年 稲田優)



講演を聴いて考えたことは、自分が興味のない分野にも、少しだけ目を向けたり耳を傾けたりすることで、新しいものが得られるということです。実際、塚本さんも、高校生の時は今の仕事に就くなど夢にも思っていなかったとおっしゃっていました。僕も今将来に向けてある夢を抱いています。でもこの夢を叶えるためには、様々なことを犠牲にしなければならないと思います。でも、それだけの覚悟を持ってこれから頑張っていこうと思えたので、とてもいい機会でした。(2年 中井健太郎)

はやぶさの打ち上げの瞬間はすごく神秘的だと思った。時間をかけ、研究を繰り返し、人間にできうる限りの真空を作り、地球に汚染されない環境を維持するための工夫が、地球のためになっているのがすごい。地球上の生命の素というものが宇宙からどういうふうやってきて、地球の物質の起源の糸口がつかめると、はやぶさ及びはやぶさ2の存在は真理に基づいているのだと知った。将来何かのためになることをしたいと思った。目標のために、努力し続けて成すことは、かっこいいと思った。(1年 福島弥由菜)